

防災かわら版

2019.9
第9号

(発行元)

佐伯市
防災局
防災危機
管理課
22-4567



「佐伯市防災講演会」を開催します。
皆様のご来場、お待ちしております。

令和元年度 **佐伯市防災講演会**

演題 南海トラフ巨大地震と佐伯市の都市リスク

令和元年 **日時** 9月29日(日) **開場** 13:30 **開演** 14:00 **閉演** 16:00 **入場無料** 申し込み不要です

場所 佐伯市保健福祉総合センター 和楽 大研修室

講師 村尾 修氏

【出身】 1965年 横浜生
【経歴】 東北大学災害科学国際研究所 教授(工学)
専門分野:防災都市計画, 都市復興計画, 国際防災戦略
【主な著書】 『建築・空間・災害 リスク工学シリーズ10』コロナ社(2013年)
『地域と都市の防災』放送大学教育振興会(2016年)
【主な受賞歴】 2002年日本建築学会奨励賞
2011年子ども環境学会 子どもが元気に育つまちづくり
東日本大震災復興プラン国際提案競技 優秀賞
2014年日本建築学会賞(論文)
【資格】 博士(工学), 一級建築士
【来歴】 佐伯市米水津(2014.12.2019.2) ※防災・復興の研究プロジェクトの一環として

託児 希望される方は9月20日(金)までにお気軽にお電話ください

「防災・行政ラジオ」
無料で貸出中です。



希望する世帯・事業所に1台無料で貸出します。屋外スピーカーの放送が聞こえにくいという地域でも、避難情報などを自動で受信し放送するほか、普通のラジオとしても利用できます。市役所または振興局で受け付けています。

「佐伯市地域避難訓練」を
11月10日(日)に実施します。

地区ごとに発生する災害を想定して、全市一斉に避難訓練を行います。いざというときに備え、訓練に参加しましょう!!

【日時】 11月10日(日) 9時頃
※大津波警報サイレンが、避難訓練開始の合図です。

【訓練内容】
自宅から、地区で決めた場所へ避難するほか、避難訓練後の内容は地区で異なります。(備蓄食糧の試食など)

「シエイクアウト訓練」

避難訓練当日は、「緊急地震速報」の訓練放送が流れたら、**机の下に隠れる等**、身を守る訓練をしましょう!!



まず低く
DROP!



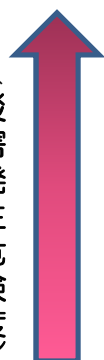
頭を守り
COVER!



動かない
HOLD ON!

水害・土砂災害の「避難情報」の伝え方が変わりました。

(災害発生危険度)



警戒レベル4 避難勧告、避難指示（緊急）

速やかに避難を開始してください。

豪雨や冠水により避難場所への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所（最上階やガケから離れた部屋）へ移動してください。

警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は、避難を開始してください。なお避難場所への移動が困難な場合は、近くの安全と思われる場所に避難してください。それ以外の方については避難の準備を整えましょう。



自宅周辺にどんな危険があるか確認しましょう！

※市が作成した洪水ハザードマップや、土砂災害ハザードマップ(注1)などにより、災害が発生しやすい場所かどうかを日頃から確認しておきましょう。

(注1)大分県の土砂災害警戒区域等の指定が完了した地域から順次作成を進めています。

～ 地区防災・取組事例紹介 ～

今回ご紹介するのは、[蒲江 丸市尾地区](#)です。丸市尾地区は、南海トラフ巨大地震が発生した場合、県内最大の13.50mの津波が押し寄せると予想されています。そのような中で、地区では地震・津波に対して日頃から高い意識をもって対策に取り組んでいます。

その一つが、[地区のボランティアで作り上げた津波避難地のトイレや発電施設](#)です。ひとたび地震・津波が発生すれば、津波警報等が解除されるまで避難地で過ごさなければいけません。地区内には高齢者が多くいるため、少しでも避難時の負担を軽減するためと、自分たちで材料を確保し、時間を見つけて少しずつ作り上げました。

